

一般診断法  
**補強計画 1**

ホームズ君の絵でみる **総合診断書**

現状 **0.49** → 補強計画1 **1.67**

■ 補強前後の評点合計の比較  
**1.26** → **3.43**  
 補強して増えた点数 (2.17)

現状						
階	方向	配置低減係数	劣化低減係数	保有耐力 (kN)	必要耐力 (kN)	上部構造評点
2	X		0.70			
	Y					
1	X	0.677		12.51	25.43	× 0.49
	Y	1.000		19.80		△ 0.77
				合計	1.26	

※ 必要耐力計算方法: 略算法  
 配置低減計算方法: 4分割法

補強計画1						
階	方向	配置低減係数	劣化低減係数	保有耐力 (kN)	必要耐力 (kN)	上部構造評点
2	X		0.89			
	Y					
1	X	1.000		44.92	25.43	◎ 1.76
	Y	1.000		42.66		◎ 1.67
				合計	3.43	

※ 必要耐力計算方法: 略算法  
 配置低減計算方法: 4分割法

**補強計画 1**

必要耐力 (Qr) 計算方法: 略算法 (精算法)

階	床面積(m <sup>2</sup> )	必要耐力係数	多雪区域加算	地震地域係数Z	軟弱地盤割増	形状割増	混構造割増	必要耐力Qr(kN)
2		0.40 □ 軽い建物 ■ 重い建物 □ 非常に重い建物	0.00 ■ 一般(0.00) □ 多雪区域(0.26~0.52)	1.00 □ その他(0.70~0.90) ■ 一般地域(1.00)	1.00 ■ 通常(1.00) □ 割増(1.50)	1.00 通常(1.00) 1F 2F 形状割増(1.2)	1.00 ■ 木造(1.00) □ RCまたは鉄骨(1.20)	
1	63.57							

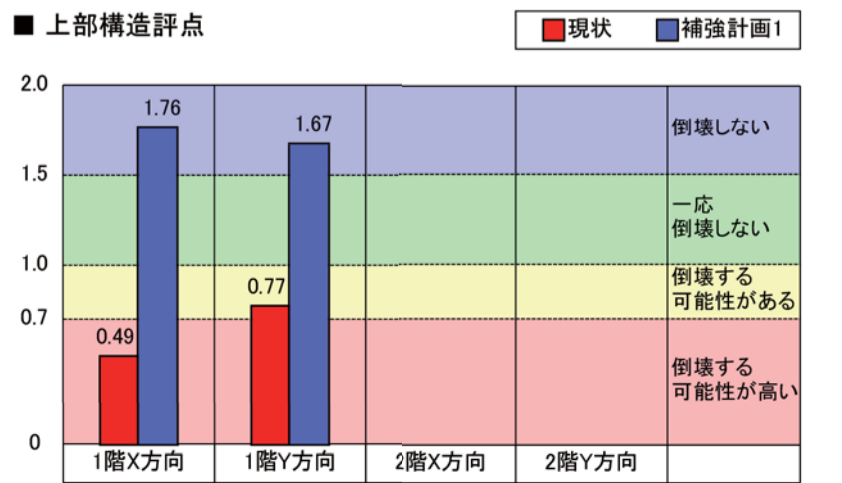
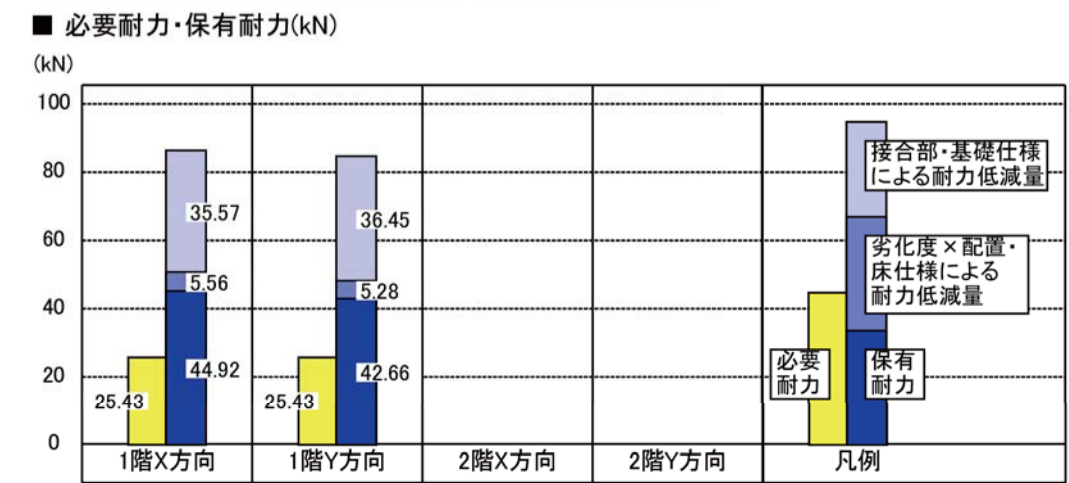
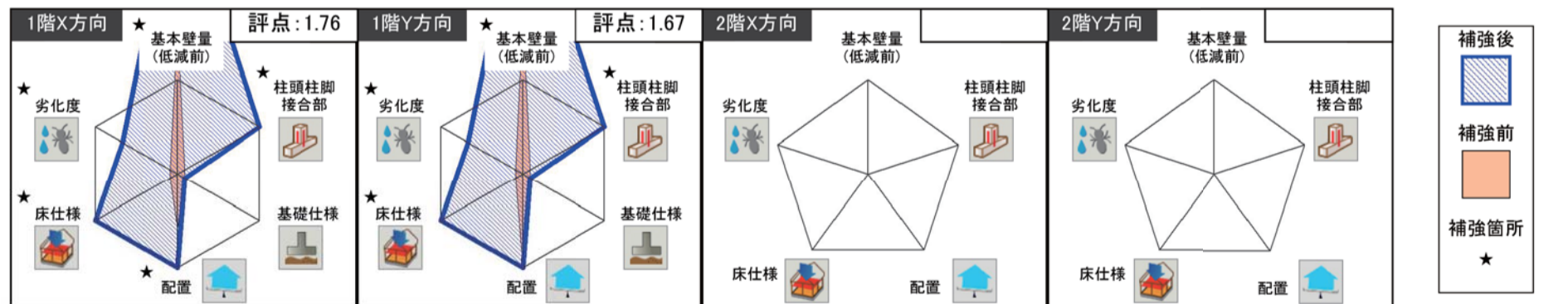
保有耐力 (Pd) 計算方法: 4分割法 (偏心率)

階	方向	無開口壁耐力(kN)	その他の耐震要素の耐力(kN)	耐力要素の配置・床仕様による低減係数	劣化度による低減係数	保有耐力 Pd (kN)
2	X			1.00	0.89	
2	Y					
1	X	46.96	3.52	1.00		44.92
1	Y	45.42	2.52	1.00		42.66

柱頭柱脚接合部仕様: ■ 接合部 I, □ 接合部 II, □ 接合部 III・IV  
 基礎仕様: □ 基礎 I, □ 基礎 II, ■ 基礎 III  
 床仕様: ■ I 合板, □ II 火打ち+荒板, □ III 火打ちなし  
 劣化度による低減係数: □ 1.00 劣化なし, □ 0.9~1.0, ■ 0.8~0.9, □ 0.7~0.8

補強・改修をすると評点が上がります。

**評点分析**

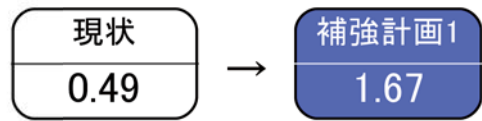
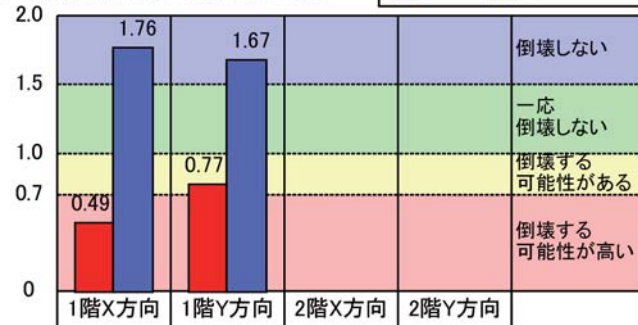




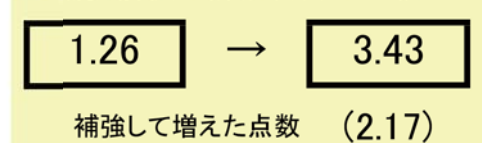
■ 建物概要

建物名	N邸		
建築地名	[不明]		
竣工年月	2017年12月(平成29年12月)		
築年数	築0年	●	10年以上
延床面積	63.57m <sup>2</sup>		
建物用途	住宅		
構法	在来軸組構法		
建物重量	重い建物		
多雪区域区分	一般	係数	0.0
地震地域係数Z	1.00	係数	1.00
短辺長さ	6m以上		
混構造割増	木造	係数	1.0
軟弱地盤	軟弱地盤ではない。	係数	1.0
地盤種別	第1種地盤		
基礎仕様	Ⅲ ひび割れのある無筋コンクリート基礎		

■ 補強前後の評点比較



■ 補強前後の評点合計の比較



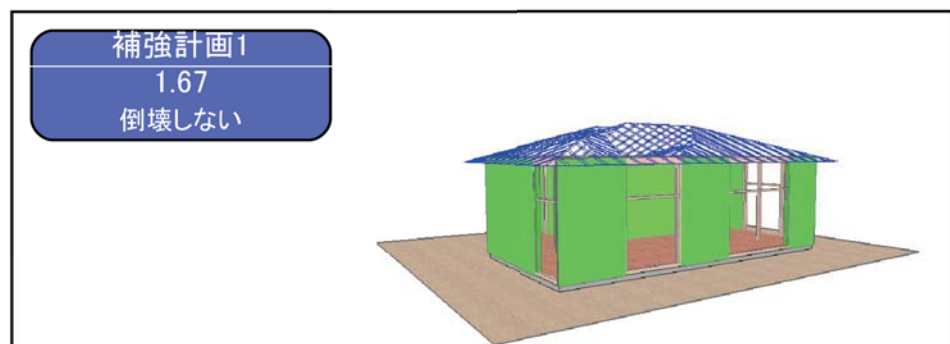
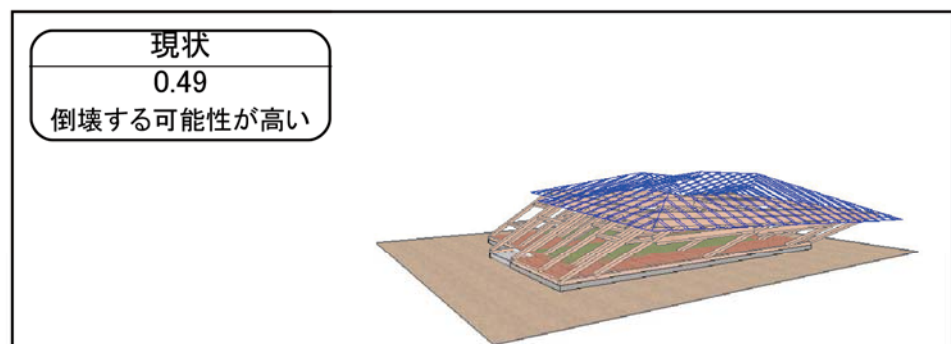
■ 補強数量集計表

※ 木製筋かい接合部は、金物数を表します。(シングル=2個 ダブル=4個)

項目	1階	2階	合計
外壁側補強工事(箇所)	19		19
内壁側補強工事(箇所)	11		11
面材耐力壁(箇所)	27		27
面材非耐力壁(箇所)	3		3
筋かい・制震装置(箇所)	0	0	0

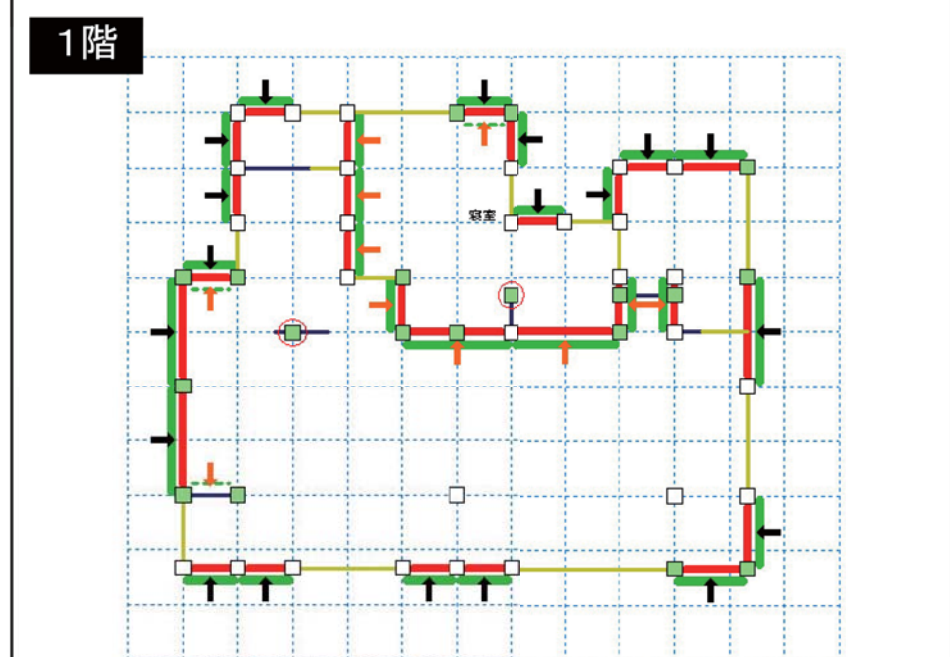
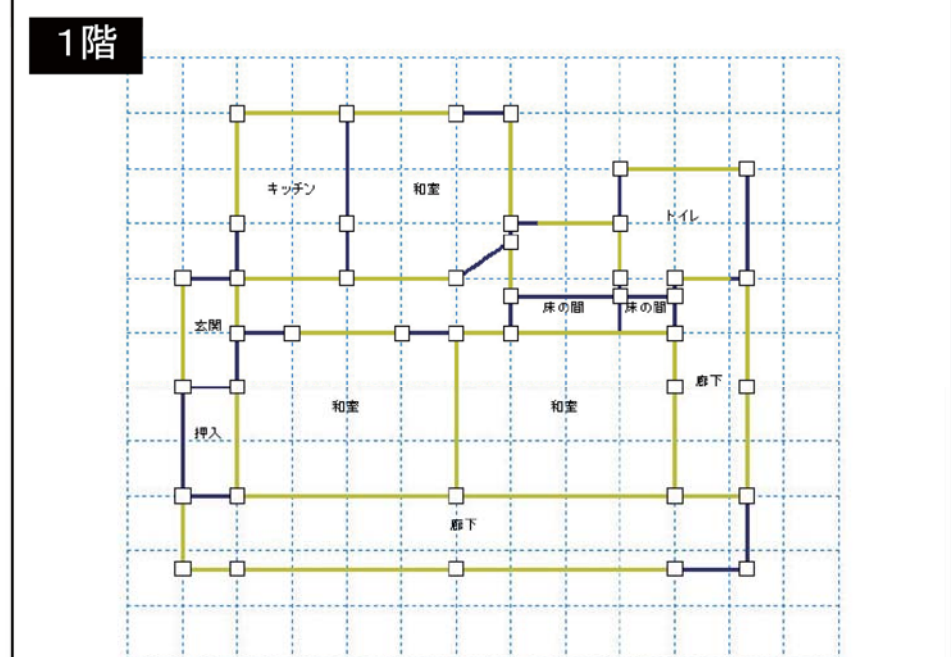
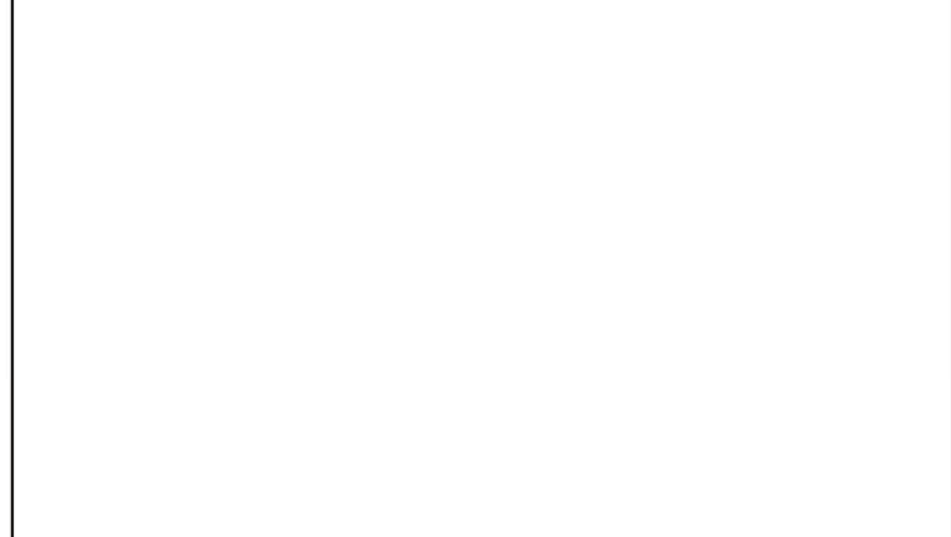
項目	1階	2階	合計
木製筋かい接合部(金物数)	0		0
金物単独補強柱(箇所)	2		2
柱頭柱脚金物補強(金物数)	38		38
基礎部分補強(m)		0.00	
建物軽量化		無し	

■ 補強前後のプラン比較



現状 0.49 倒壊する可能性が高い

補強計画1 1.67 倒壊しない



階	方向	配置低減係数 ※	劣化低減係数	保有耐力 (kN)	必要耐力 (kN)	上部構造評点
2	X		0.70			
	Y					
1	X	0.677	0.70	12.51	25.43	× 0.49
	Y	1.000		19.80		△ 0.77
合計						1.26

必要耐力計算方法: 略算法  
配置低減計算方法: 4分割法

階	方向	配置低減係数 ※	劣化低減係数	保有耐力 (kN)	必要耐力 (kN)	上部構造評点
2	X		0.89			
	Y					
1	X	1.000	0.89	44.92	25.43	◎ 1.76
	Y	1.000		42.66		◎ 1.67
合計						3.43

必要耐力計算方法: 略算法  
配置低減計算方法: 4分割法

現状: 筋かい(シングル), 筋かい(ダブル), 壁, 開口部, 耐力壁, 柱, 重心, 剛心, 偏心推奨エリア

補強計画: 筋かい(シングル), 筋かい(ダブル), 面材耐力壁, 面材非耐力壁, 外壁側壁補強, 内壁側壁補強, 金物補強対象柱, 金物単独補強柱, 劣化補修, 劣化補修(単独), 基礎部分補強, 制震装置